

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年10月25日 (2012.10.25)

【公表番号】特表2011-505414(P2011-505414A)

【公表日】平成23年2月24日 (2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-536523(P2010-536523)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/755 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

A 6 1 K 38/43 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/755

C 0 7 K 7/06 Z N A

C 0 7 K 7/08

A 6 1 K 37/465

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月13日 (2011.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下のコア残基配列：

【化 1 6】

LYISQFIIM

FIIMYSLDG

IARYIRLHP

LIIFKNQAS

LTRYYSFV

MVTFRNQAS

LRIHPQSWV

のうちの一つを含むペプチドであって、

該ペプチドは、更なる抗原プロセッシングを受けることなく M H C クラス I I 分子に結合し、第 V I I I 因子特異的 T 細胞により認識され得る、ペプチド。

【請求項 2】

以下のコア残基配列：

【化 1 7】

IARYIRLHP

LTRYYSFV

MVTFRNQAS

LRIHPQSWV

のうちの一つを含む請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 3】

以下のコア残基配列：

【化 1 8】

LTRYYSFV

MVTFRNQAS

のうちの一つを含む請求項 2 に記載のペプチド。

【請求項 4】

配列

【化 1 9】

PRCLTRYYSFVNME

を有する請求項 3 に記載のペプチド。

【請求項 5】

配列

【化 2 0】

DNIMVTFRNQASRPY

を有する請求項 3 に記載のペプチド。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項 に記載の複数のペプチド類を含む組成物。

【請求項 7】

インビボにおいて第 V I I I 因子インヒビター抗体の産生を抑制もしくは阻止するための医薬品の製造における請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項 に記載のペプチド又は請求項 6 に記載の組成物の使用。

【請求項 8】

対象において第 V I I I 因子インヒビター抗体の産生を抑制又は阻止するための組成物であって、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項 に記載のペプチド又は請求項 6 に記載の組成物を含む、組成物。

【請求項 9】

対象において血友病を処置するための組成物であって、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項 に記載のペプチド又は請求項 6 に記載の組成物を含む、組成物。

【請求項 1 0】

前記対象が血友病 A を有し、第 V I I I 因子置換療法を受けているか、受けようとしている、請求項 8 又は 9 に記載の組成物。

【請求項 1 1】

前記対象が後天性血友病を有しているか、これに罹患するリスクがある、請求項 8 又は 9 に記載の組成物。

【請求項 1 2】

前記対象が H L A - D R 2 である、請求項 8 ～ 1 1 のいずれか 1 項 に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 8 】

第 V I I I 因子インヒビターは、H L A - D R 2 を発現している個体においてより高頻度
に存在する。従って、本発明の方法により処置される対象は H L A - D R 2 陽性である
とすることができる。

本発明はまた、以下の項目を提供する。

(項目 1)

以下のコア残基配列：

【化 1 6 】

LYISQFIIM

FIIMYSLDG

IARYIRLHP

LIIFKNQAS

LTRYYSFV

MVTFRNQAS

LRIHPQSWV

のうちの一つを含むペプチドであって、

該ペプチドは、更なる抗原プロセッシングを受けることなく M H C クラス I I 分子に結合
し、第 V I I I 因子特異的 T 細胞により認識され得る、ペプチド。

(項目 2)

以下のコア残基配列：

【化 1 7 】

IARYIRLHP

LTRYYSFV

MVTFRNQAS

LRIHPQSWV

のうちの一つを含む項目 1 に記載のペプチド。

(項目 3)

以下のコア残基配列：

【化 1 8 】

LTRYYSFV

MVTFRNQAS

のうちの一つを含む項目 2 に記載のペプチド。

(項目 4)

配列

【化 1 9 】

PRCLTRYYSFVNME

を有する項目 3 に記載のペプチド。

(項目 5)

配列

【化 2 0】

DNIMVTFRNQASRPY

を有する項目 3 に記載のペプチド。

(項目 6)

項目 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の複数のペプチド類を含む組成物。

(項目 7)

インビボにおいて第 V I I I 因子インヒビター抗体の産生を抑制もしくは阻止するのに使用するための項目 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のペプチド又は項目 6 に記載の組成物。

(項目 8)

インビボにおいて第 V I I I 因子インヒビター抗体の産生を抑制もしくは阻止するための医薬品の製造における項目 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のペプチド又は項目 6 に記載の組成物の使用。

(項目 9)

対象において第 V I I I 因子インヒビター抗体の産生を抑制又は阻止するための方法であって、該対象に項目 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のペプチド又は項目 6 に記載の組成物を投与する工程を含む方法。

(項目 1 0)

対象において血友病を処置するための方法であって、該対象に項目 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のペプチド又は項目 6 に記載の組成物を投与する工程を含む、方法。

(項目 1 1)

上記対象が血友病 A を有し、第 V I I I 因子置換療法を受けているか、受けようとしている、項目 9 又は 1 0 に記載の方法。

(項目 1 2)

上記対象が後天性血友病を有しているか、これに罹患するリスクがある、項目 9 又は 1 0 に記載の方法。

(項目 1 3)

上記対象が H L A - D R 2 である、項目 9 ～ 1 2 のいずれか 1 項に記載の方法。